

## [平成24年度第1回 富良野市水道事業経営審議会 議事録]

吉田上下水道課長の進行で開会

外崎建設水道部長あいさつ

委員の紹介

会長の佐々木氏を条例に基づき指名、議長就任あいさつ

水道事業においては、水余り現象が起きており、料金収入がなかなか伸びない状況となっている。一方で耐震化対策等の費用の捻出が迫られており民間企業への委託も含めた企業経営の視点が必要となってきた。料金収入の減少が見込まれる中どのように経営を健全化していくかが課題となっている。このような観点での審議を進めて頂きたい。

議事進行 佐々木会長が議長となり議事進行。

### 議事

報告1 平成23年度事業実施状況 (中島係長)

資料に基づき平成23年度に行った上水道、簡易水道事業について説明。

(委員質問等 なし。)

報告2 平成23年度決算状況 (大木主査)

資料に基づき平成23年度の上水道、簡水道事業の決算状況について説明。

質問1

島の下簡易水道は、取水にずいぶんお金がかかっていると思われる。水源を地下水に替えるために調査を行わないのか。

回答1 島の下簡易水道創設期に調査を行った経過があるが、見つからなかった。地下水をあきらめ、当初は、湧水等の水源を利用して運用していたが、安定した水量の確保が出来ず、現在の取水方法となった。地下水に比べて確かに費用は掛かるが、やむを得ないと考えている。

質問2

平成23年度の有収率はどのようになっているのか。

回答2

有収率については、82.5%であり、無収水量のうち公園や消防として使用しているものもあるが大半は漏水である。漏水の発見、減量については、管延長もあり、なかなか一気に漏水をなくすことはできないが、日々努力している。

報告3 平成24年度事業実施予定について (中島係長)

資料に基づき、平成24年度に予定している事業の実施予定を説明

質問3

事業については、単独で行うものと、道路工事関連で行うものとあるが、道路工事関連で行う場合、道路工事費に予算が盛り込まれているのか

回答3

道路事業関連で行う事業については、道路事業者側から補償費もらい、工事を行っている。補償費の算出については、減価償却も勘案されるため、100%補償とならない場合もある。

報告4 平成24年度予算について（大木主査）

資料に基づき、平成24年度予算について説明

質問4

3条予算、4条予算に違いについて、また簡易水道会計には、なぜないのか。

回答4

3条予算は、収益的収支であり収入は、料金収入が主なものとなります。支出については、水道施設の修繕、量水器の2回目以降の取替え費等が対象となります。4条予算については、資本的収支であり、収入は企業債等となり、支出については、水道施設の建設改良費、1回目の量水器取替え費用が対象となります。

諮問事項が無いため、審議については省略

その他 次回開催について

審議委員の任期途中であり、市長の諮問事項も予定がないことから、次期開催については、来年度としたい。

委員全員了解

閉会

以 上